

タテトラ2013救護アンケート報告

タテトラ2013では、参加者の皆様のご協力をいただき、救護班によるヒヤリ・ハットアンケートを実施いたしました。結果は、タテトラホームページ上で公開し、タテトラ2014に参加される皆様にも配布させていただきます。今後の大会参加への参考としていただければ幸いです。

タテトラ2014でもアンケート調査を予定しております。参加者の皆様には、ご協力をいただけますようよろしくお願いします。

タテトラ2013 当日のコンディション

2013年6月30日(日曜日)

当日6時の天候:晴れ時々曇り 気温:25度 水温:22.5度
最高気温 26.5度 湿度 82% 平均風速 2.4m 最大風速 5.4m
大会出場者:1097人

ヒヤリ・ハットアンケート概要

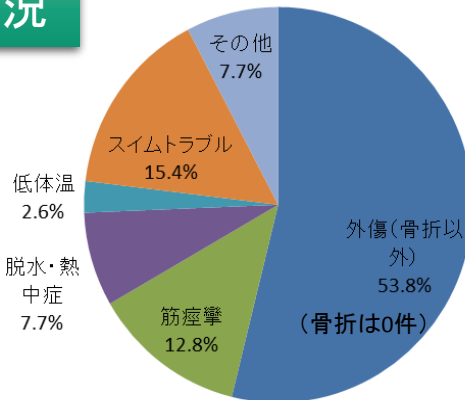
前日アンケート:前日説明会にて、参加者全員対象
回答者 878人(回収率80%)

当日アンケート:フィニッシュ後に、参加者全員対象
回答者 466人(回収率42.5%)

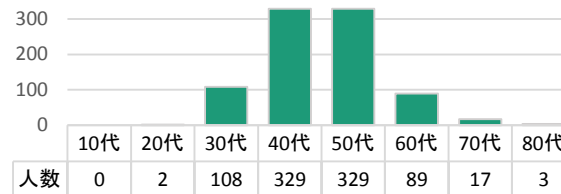


救護所利用状況

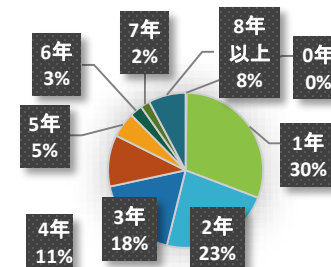
利用者:39名
・救急搬送1名
(スイムで海水を飲んだ)
・当日救急受診1名
(バイク中に右目の痛みと視力低下)



年代別分布

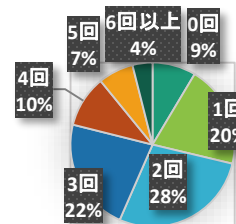


トライアスロン競技歴

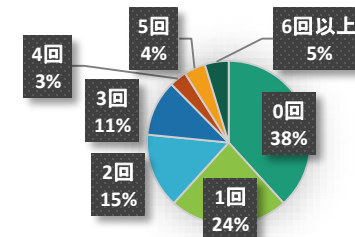


平均年齢 40.8歳、平均競技歴 3.47年でした。
半数が競技歴2年以下でした。

年間平均レース数

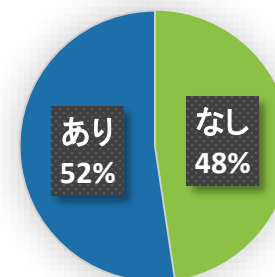


年間OWS出場・練習回数

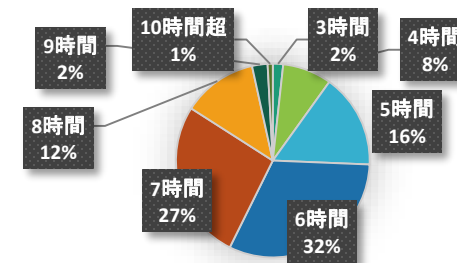


年間平均レース数 2.49回、
平均OWS出場・練習回数 1.7回でした。

前日の飲酒の有無



前日の睡眠時間



前日は約半数の方が飲酒していました。
平均睡眠時間は6.2時間でした。

ヒヤリ・ハットの内容

- ウェーブ毎の人数が多い
- スタート直後にパニックなりそうだった
- パニックになった人につかまれた
- バトルで蹴られた・乗っかれた
- 足がつりそうになった
- 海水を飲んでしまった
- ウェアがきつくて息苦しかった
- 海が経験不足で思ったように進めなかった



- コースが狭いところがあった
- カーブでコースアウトしそうになった
- 右回りが慣れず怖かった
- コースのデコボコがあった
- キープレフトができていない選手がいた
- 左から声をかけずに抜く人がいた
- コーナーで人が集中して怖かった
- ゴムマットが滑って怖かった
- ゴムマットが波打っていた・めくれていた
- 段差で落ちたボトルを踏みそうになった
- ドラフティングが危険だった

- 暑くて熱中症になりそうだった
- 暑さでぼーっとした
- 日陰がなく暑かった
- 足がつってしまった
- 水を飲み過ぎて苦しくなった
- ハンガーノックになった
- キープレフトができていない選手がいた
- 遅い人が抜くラインにいた
- 追い抜くときが危険



その他運営に関するコメント・要望

- バイクコースの応援をしやすくしてほしい
- ランコースにスポーツドリンクが欲しい
- エイドが狭いので広くしてほしい
- 段差のあるところに看板などで注意するようにしてほしい
- 砂の多いところはマットを敷くなどの対応をしてほしい
- トランジットの仕方について、説明会で詳しくしてほしい
- 周回が多く飽きてしまう
- 基本的なルールやマナーについて、初心者向けに解説があった方がよい

タテトラ2013アンケート結果から

事前に「不安がある」と答えていた選手ほど、実際にレースでヒヤリ・ハットを経験している傾向にあることがわかりました。しかし、「不安がない」と答えた方でも実際にヒヤリ・ハットを経験しています。

練習では、特に海の経験を重ねること、また大会で大勢の中で競技することが通常の練習と大いに異なることの2点を意識していただくと良いのではないのでしょうか。

タテトラ2014に参加される皆様へ

- タテトラは暑いです！熱中症の初期症状に注意し、水分・塩分補給はレース前から確実に行ってください
- スイムは特にスタート直後は人が多いです。特に経験の少ない方、焦らないこと！救助必要時は手を頭上で振って、声を出して助けを求めましょう。
- バイクは右回り周回、狭さやデコボコなどコースの難しさもあります。キープレフト走行、ドラフティング、カーブ、追い抜き、トランジションなど、ルールをしっかりと確認してください。
- ランでは熱中症が毎年発症しています。水分と塩分（塩タブレットもあります）補給を行ってください。
- 最後に、今年も安全で楽しい大会にしましょう！ご協力どうぞよろしくお願いいたします。